

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	2-2-1	分類	共通	担当課	経営企画課、輸送課、営業課	戦略	快適なお客さまサービスの提供	年度	R4	
取組	利用しやすい環境整備			個別取組	バスと地下鉄の連携強化(乗継ぎ利便性の向上)					
概要	バスと地下鉄の乗継ぎ、南北線と東西線の乗換えを考慮したダイヤの設定や、地下鉄駅に接続するバスの発車時刻をデジタルサイネージに表示することなどにより、乗継ぎ利便性を向上させます。また、icscaを使ってバスと地下鉄を乗り継いだ場合にicscaに乗継ぎポイントを付与することで乗継ぎ利用を促進します。また、JR線、地域交通、シェアサイクル等多様な交通機関との連携も検討していきます。									
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
予定	乗継ぎを考慮したダイヤの検討・実施									
	地下鉄LCDの運用									
	乗継ポイントの実施									
これまでの取組み状況	【令和3年度】 ・LCD(※1)故障への改善策として、屋外用LCDへの更新を検討。費用対効果が見合わないことから保守管理でカバーするように調整。 ・市バスと地下鉄・JR線における乗り継ぎ利便性向上のため、乗り継ぎ時間を確保したダイヤを設定。 ・乗継ポイント(※2)付与実績 55,429,774ポイント									

【年度計画及び実績】

課題	【課題】LCD表示器が鉄道駅構内の環境特異の事情により、故障が増加している。 【改善策】LCD表示器の耐久性の向上、代替のお知らせ手段の検討。		
実施内容	・地下鉄・JR在来線に接続するバス路線について、令和4年4月に実施したダイヤ改正後の運行状況等を確認し、バスから地下鉄・JRに、地下鉄・JRからバスに、より乗り継ぎしやすい時刻設定に努める。 ・LCD表示器の確実な運用	数値目標	
	予定	実績	
上期	・5～9月 現行ダイヤの運行・遅延状況の確認 現行ダイヤの改善内容整理 南北線LCD表示器機器更新の調査・検討 ・10月～ ダイヤ改正(令和5年4月)での反映事項の整理	・5～9月 現行ダイヤの運行・遅延状況の確認 現行ダイヤの改善内容整理 南北線LCD表示器機器更新の調査・検討	
下期	・～12月 ダイヤ改正(令和5年4月)での反映事項の整理 ・1～3月 鉄道駅の停留所時刻表の修正・通過時刻の見直し 地下鉄LCD機器更新の準備	・1～3月 東西線LCD機器の更新	
定期的な取組み	・運行状況の把握(運行データ収集) ・～9月 LCD表示器の更新について調査 ・乗継ポイントは(必要に応じて)制度見直し及び運用変更	・運行状況の把握(運行データ収集) ・～9月 LCD表示器の更新について調査 ・icscaポイント制度について見直しを行い、乗継ポイントは現行の制度のまま継続することとした。 ・地下鉄及びJRからバスの乗換え時刻の調整を行った。	

【令和4年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	・icscaポイント制度について見直しを行い、乗継ぎポイントは現行の制度のまま継続することとした。 ・南北線LCD表示器の更新方法を検討し、令和5年度の実施に向けた準備を行った。 ・地下鉄及びJRから市営バスへの乗り換えする際の時刻調整を行った。	数値目標の達成状況
次年度に向けて	・引き続きLCD表示器の確実な運用を行っていく。 ・次年度以降も時刻調整を継続する。			

【備考】

※1「LCD」とは、地下鉄駅構内に設置している市バスのリアルタイム運行情報をお知らせしている液晶のディスプレイのことです。
 ※2「乗継ぎポイント」とは、地下鉄と市バス、または地下鉄と宮城交通・ミヤコーバス(高速バス除く)を60分以内に乗り継ぐとポイントが貯まる制度です。
[仙台市交通局ウェブサイト「icscaのポイント」](#)

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組概要】

番号	2-2-2	分類	共通	担当課	輸送課・営業課	戦略	快適なお客さまサービスの提供	年度	R4	
取組	利用しやすい環境整備			個別取組	分かりやすい案内サイン					
概要	案内サインの更新に合わせて、高齢者や障害のある方、仙台市を初めて訪れる旅行者等にも分かりやすく視認性に優れたものへ見直していきます。									
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
予定	確認しやすい系統番号表示を検討・導入 案内サインの改善									
これまでの取組み状況	【確認しやすい系統番号(※1)表示の検討・導入】 令和3年度 仙台駅西口バスターミナルへの系統別案内表示シートの床面設置(9番～11番)									

【年度計画及び実績】

課題	【課題】系統番号は一般的に広く使われているGoogle Mapの経路案内で用いられているが、バス停留所には系統番号が小さく表記されており、お客さまが見つけづらい。 【改善策】お客さまが確認しやすいように系統番号のフォントサイズや位置を改良して、不慣れなお客さまでもご利用しやすい環境を整える。				
実施内容	・駅などの複数系統が乗り入れ、バス停留所が複数ある箇所を対象として、お客さまが確認しやすい系統番号の表示を掲示スペースの空きを活用して導入する。 ・仙台駅西口バスターミナル周辺の案内サインを調査し、全国都市緑化仙台フェア開催会場への案内サインを掲出する。		数値目標	分割停留所掲示(※2 50箇所/全99箇所)	
	予定		実績		
上期	～9月 ・分割停留所に掲示する系統番号毎の乗り場案内を整理順次掲示 ・系統番号の掲示に必要な資材(アクリル板等)の金額確認、準備 ・全国都市緑化仙台フェア開催に向けた案内サインの検討		7月 緑化フェアに向けた広告・案内サイン等の打ち合わせ(第1回) 8月 建設局と仙台駅西口バスターミナル周辺の案内サイン整備打ち合わせ(第1回) 9月 緑化フェアに向けた広告・案内サイン等の打ち合わせ(第2回) ～9月 系統番号の掲示に必要な資材(アクリル板等)の令和5年度購入分の準備		
下期	～3月 ・分割停留所に掲示する系統番号毎の乗り場案内を整理順次掲示 ・全国都市緑化仙台フェア開催に向けた案内サインの設置		11月 緑化フェアに向けた広告・案内サイン等の打ち合わせ(第3回) 建設局と仙台駅西口バスターミナル周辺の案内サイン整備打ち合わせ(第2回) 1月 緑化フェアに向けた広告・案内サイン等の打ち合わせ(第4回) 建設局と仙台駅西口バスターミナル周辺の案内サイン整備打ち合わせ(第3回) 2月 建設局と仙台駅西口バスターミナル周辺の案内サイン整備打ち合わせ(第4回) 3月 緑化フェアに向けた広告・案内サイン等の打ち合わせ(第5回) 全国都市緑化仙台フェア開催に向けた案内サインの設置(仙台駅構内の通路床面への案内ライン設置) 分割停留所掲示実績 10月8か所 11月6か所 12月4か所 2月2か所		
定期的な取組み	・お客様のご意見等からより分かりやすい案内サインを検討		・お客様のご意見等からより分かりやすい案内サインを検討		

【令和4年度評価】

評価	○	進捗状況・評価の説明	- 全国都市緑化仙台フェア開催に向けて、緑化フェア推進室と案内サイン等について検討し掲出。 - 地下鉄仙台駅からバスターミナルへのわかりやすい案内サインについて、建設局と打ち合わせを行い検討し掲出。 - 分割停留所を20か所掲示。	数値目標の達成状況	令和4年度の分割停留所掲示は20か所に留まった。
次年度に向けて	引き続き分割停留所に掲示する系統番号毎の乗り場案内を整理し順次掲示する。				

【備考】

- ※1 系統番号についてのご案内は、下記リンクよりご確認ください。
[仙台市交通局ウェブサイト「系統番号のご案内」](#)
- ※2 「分割停留所」とは、複数の行先が異なる路線が乗り入れるため、3箇所以上に分けて標識を設置しているバス停留所のこと。通常のバス停留所は上・下線で1箇所ずつ、計2箇所に標識を設置している。

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	2-2-3(バス)	分類	共通	担当課	業務課		戦略	快適なお客さまサービスの提供		年度	R4
取組	利用しやすい環境整備			個別取組	バスや地下鉄におけるWi-Fiサービスの提供						
概要	るーぷる仙台(※1)車内、地下鉄駅構内においては無料Wi-Fiを利用できる環境(※2)となっています。お客さまの利便性を維持すべく、Wi-Fiサービスの提供を継続します。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
予定	Wi-Fi環境の維持										
これまでの取組み状況	【令和3年度】 るーぷる仙台の車内およびバス停留所でのWi-Fiサービスの提供										

【年度計画及び実績】

課題	・お客さまの利便性を維持するため、今後もWi-Fiサービスの提供を継続する必要がある。 ・Wi-Fiサービスを無料で提供することへの利用者ニーズの把握。		
実施内容	るーぷる仙台の車内及びバス停留所に整備済みのWi-Fi環境を維持するよう、整備実施者の仙台市観光課と調整する。	数値目標	
	予定	実績	
上期			
下期			
定期的な取り組み	・るーぷる仙台の車内及びバス停留所に整備済みのWi-Fi環境の維持 ・車内およびバス停留所でのWi-Fi通信環境の確認		・るーぷる仙台の車内及びバス停留所に整備済みのWi-Fi環境の維持 ・車内およびバス停留所でのWi-Fi通信環境の確認

【令和4年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	るーぷる仙台の車内及びバス停留所に整備済みのWi-Fi環境について、通信環境を確認するなど適切な維持に努めた。	数値目標の達成状況	
次年度に向けて	るーぷる仙台の車内及びバス停留所におけるWi-Fi環境について適切な維持に努める。				

【備考】

- ※1「るーぷる仙台」とは、仙台市中心部の観光スポットを結ぶ循環バスのことです。詳しくは、下記リンクよりご確認ください。
[\(公財\)仙台観光国際協会ウェブサイト「るーぷる仙台」\(外部サイトを表示します\)](#)
- ※2「るーぷる仙台」の車内及びバス停留所におけるWi-Fi環境については、下記リンク先の「るーぷる仙台車両情報」をご確認ください。
[\(公財\)仙台観光国際協会ウェブサイト「るーぷる仙台とは」\(外部サイトを表示します\)](#)

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	2-2-3(地下鉄)	分類	共通	担当課	営業課	戦略	快適なお客さまサービスの提供			年度	R4
取組	利用しやすい環境整備			個別取組	バスや地下鉄におけるWi-Fiサービスの提供						
概要	るーぷる仙台車内、地下鉄駅構内においては無料Wi-Fiを利用できる環境(※1)となっています。お客さまの利便性を維持すべく、Wi-Fiサービスの提供を継続します。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
予定	無料Wi-Fiサービスの提供										
これまでの取組み状況	地下鉄駅構内におけるW-Fiサービスの提供に必要な機器について、通信事業者等に対し目的外使用許可により駅構内の一部の使用を許可するとともに、交通局HPでWi-Fiサービスについての周知広報を行った。										

【年度計画及び実績】

課題	各種Wi-Fiサービスはキャリアにより提供されているが、携帯料金の値下げによるキャリアの経営状況の悪化により、他の交通事業者と同様、Wi-Fiサービスの継続が難しい局面を迎えている。		
実施内容	無料Wi-Fiのサービスを継続できるよう、必要に応じて実施・設置主体と調整を行う。	数値目標	南北線全17駅、東西線全13駅における無料Wi-Fiサービス提供の継続
	予定	実績	
上期			
下期		12月 事業者からの申出により、一部の無料Wi-Fiサービス提供が停止	
定期的な取り組み	無料Wi-Fiサービス提供の継続	無料Wi-Fiサービス提供の継続	

【令和4年度評価】

評価	○	進捗状況・評価の説明	事業者からの申出により、一部の無料Wi-Fiサービス提供が停止となったものの、南北線全17駅、東西線全13駅における無料Wi-Fiサービス提供は継続している。	数値目標の達成状況	南北線全17駅、東西線全13駅における無料Wi-Fiサービス提供は継続できた。
次年度に向けて	携帯料金の値下げによるキャリアの経営状況の悪化により、全国的にWi-Fiサービスの継続が難しい局面を迎えていることから、継続に向けては実施・設置主体との調整が必要となることが見込まれる。				

【備考】

※1 無料Wi-Fiサービスの提供状況については、下記リンクよりご確認ください。

[仙台市交通局ウェブサイト「駅構内公衆無線LANサービス」](#)

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	2-2-4	分類	バス	担当課	整備課	戦略	快適なお客さまサービスの提供			年度	R4
取組	利用しやすい環境整備				個別取組	人とまちに優しいバス車両の導入					
概要	高齢者や障害のある方でも乗り降りの負担が少ない、かつ、排出ガスによる環境負荷の少ない国の最新の自動車排出ガス規制に適合したアイドリングストップ装置付きノンステップバス車両を計画的に導入し、人にもまちにも優しいバスサービスの提供を目指します。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
予定	アイドリングストップ装置付きノンステップバスの計画的な導入										
これまでの取組み状況	【令和3年度】 ノンステップバス(大型23両、中型2両)計25両導入 (令和4年4月1日時点の導入率86.3%)										

【年度計画及び実績】

課題	全車ノンステップ化に向けた計画的な導入。		
実施内容	アイドリングストップ装置付きノンステップバスを導入する。		数値目標 25両導入する。 (大型22両、中型3両)
	予定		実績
上期	4～5月車両の仕様書作成及び契約締結依頼 8～9月バス車両購入契約		8/29 新車(大型22両)購入契約
下期	10月車両仕様協議 1～3月新車納車		2月9～10日 中間検査を実施 3月13～22日 各工場へ大型22両の新車を納車
定期的な取組み			

【令和4年度評価】

評価	○	進捗状況・評価の説明	大型22両については予定通りに購入した。中型3両について、2度の入札を行ったが、急激な原材料価格高騰等の影響を受けた車両価格の上昇により、購入に至らなかった。低床バス比率は98.5%となった。	数値目標の達成状況	25両の予定に対して、22両購入した。達成率は88%
次年度に向けて	新車価格の動向に注意を払い、予定車両数の購入に努める。				

【備考】

※現在交通局に在籍している車両の紹介は、下記リンクよりご確認ください
[仙台市交通局ウェブサイト「市バスの車両」](#)

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	2-2-5	分類	バス	担当課	輸送課		戦略	快適なお客さまサービスの提供		年度	R4
取組	利用しやすい環境整備			個別取組	バス待ち環境の向上						
概要	バス停上屋、ベンチ、接近表示器等(※1)を整備し、お客さまに快適なバス待ち環境を提供していきます。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
予定	バス停上屋やベンチを設置										
	接近表示器を設置										
これまでの取組み状況	【令和3年度】 各設備の設置か所数 ・上屋:15か所(内 広告付き上屋14か所) ・ベンチ:3か所 ・接近表示器:4か所										

【年度計画及び実績】

課題	【課題】 設置個所を適切に選定すること 【改善策】 バス待ち環境やお客さまのご利用状況・ご要望等を確認して優先順位を検討する。それを基に各年度で設置か所を選定する。		
実施内容	年度毎に各設備の設置目標数を設定し、着実に実行する事で、バス待ち環境の向上を計画的に進めていく。	数値目標	・上屋:8か所/年度(内 広告5か所) ・接近:3か所/年度
	予定	実績	
上期	～9月 広告付き上屋設置か所選定 関係公官庁との協議 広告付き上屋設置工事 ～9月 現場確認・設置個所の選定(広告付き上屋以外)	～9月 広告付き上屋設置か所選定 関係公官庁との協議 ～9月 現場確認・設置個所の選定(広告付き上屋以外)	
下期	～3月 設置工事(広告付き上屋含む) 使用開始	～3月 設置工事(広告付き上屋含む) 使用開始	
定期的な取組み	・年1回以上の定期点検(上屋・ベンチ)、清掃 ・お客さまのご利用状況やご要望の確認 ・設置事業者との新規設置工事の調整(広告付き上屋)	・年1回以上の定期点検(上屋・ベンチ)、清掃 ・お客さまのご利用状況やご要望の確認 ・設置事業者との新規設置工事の調整(広告付き上屋)	

【令和4年度評価】

評価	○	進捗状況・評価の説明	・広告付き上屋は、設置事業者都合で4か所の設置に留まった。 ・交通局設置の上屋は、入札不調により1か所に留まった。 ・接近表示器は3か所設置した。	数値目標の達成状況	・上屋5か所設置(内、広告4か所) ・接近器3か所設置
次年度に向けて	広告付き上屋は、設置事業者都合で目標未達の状況が続いているため、設置事業者との協議を重ね目標数の設置を進めていく。 交通局設置の上屋は、受注可能な事業者が少ないために入札不調が続いたが、次年度以降の事業者動向を見ながら目標数の設置を進めていく。				

【備考】

※1「接近表示器」とは、一部のバス停留所に設置しているバスのリアルタイム運行情報を表示する機器のことです。

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	2-2-6	分類	バス	担当課	整備課	戦略	快適なお客さまサービスの提供			年度	R4
取組	利用しやすい環境整備			個別取組	LED行先表示器の機能向上						
概要	導入から15年以上経過し老朽化による故障も発生しているオレンジ色LED行先表示器について、白色LEDを使用し、より明るく遠くからでも見やすい機器に更新します(※1)。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
予定	・長町(営) 車両更新	・実沢(営)、 七北田(出) 車両更新	・東仙台(営) 車両更新	・川内(営)、 白沢(出) 車両更新	・霞の目(営) 車両更新						
これまでの 取組み 状況	【令和3年度】 ・7月 障害者団体へ、白色LED行先表示器の視認性のデモを実施 ・長町営業所所属車両他75両へ白色LED行先表示器を設置										

【年度計画及び実績】

課題	昨今の原油価格高騰及び半導体不足による製品の供給体制。		
実施内容	実沢営業所・七北田出張所所属バス車両のLED行先表示器を更新する。		数値目標 124両分の機器を更新する。
	予定		実績
上期			9/14より車両への取り付け開始
下期	10月～3月 車両への取付け		10/17 車両への取り付け完了
定期的な取組み			

【令和4年度評価】

評価	○	進捗状況・評価の説明	新車購入予定の中型車3両分の設置が出来なかった。(◆2-2-4に関連記載あり) 行先表示器が白色LEDの車両の割合は42.1%となった。	数値目標の達成状況	124両分の機器更新に対し、121両分を更新した。達成率は97.6%
次年度に向けて	設定した数値目標は、車両購入数にも影響されるため、予定数の車両購入に努める。				

【備考】

※1 白色LEDを使用した行先表示器への更新については、下記リンクよりご確認ください。

[仙台市交通局ウェブサイト\[白色LEDを使用した行先表示器への更新\]](#)

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	2-2-7	分類	地下鉄	担当課	施設課、車両課		戦略	快適なお客さまサービスの提供		年度	R4
取組	利用しやすい環境整備			個別取組	南北線車両更新に合わせた利便性向上						
概要	南北線は、駅ホームと停止した車両の間に隙間と段差があり、車椅子使用者が乗車する際に、駅務員が渡り板を設置し、介助を行っています。南北線車両更新に合わせて、その段差を縮小するとともに、南北線各駅のホーム乗降口に隙間調整材を設置することで、駅ホームと車両間の隙間を縮小し、車椅子使用者がお一人でも乗降できるようにします。また、新車両には車椅子やベビーカー等でご利用いただけるスペースを1両に1箇所設けるとともに、便利な情報を提供できる案内ディスプレイや、車内の防犯・テロ対策を目的とした監視カメラの設置を検討していきます。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
予定	隙間調整材の設置					施工計画の検討状況により、事業期間延長					
	仕様検討・車両製造・試験			車両導入							
これまでの取組み状況	【隙間調整材の設置】 令和3年度 長町南駅に設置 (◆3-2-1に関連記載あり) 【車両】 令和3年度 市民投票により車両の新デザインを決定した。 バリアフリー意見交換会を開催し、頂いた意見を車両仕様に反映した。 (◆1-3-4に関連記載あり)										

【年度計画及び実績】

課題	【隙間調整材の設置】 令和4年度から工事が本格化する。令和3年度に実施した工事において得られた施工可能量や、施工上の課題を踏まえ、6駅を4件の工事に分けて発注する。 【車両】 新型コロナウイルス感染症の影響により、工程の遅れが懸念されることから、製造請負業者との工程調整を密に行う必要がある。		
実施内容	【隙間調整材の設置】 前年度工事で得られた知見を活かし、着実に工事をすすめる。 【車両】 各製造請負業者との協議を実施し、車両仕様を決定する。 国土交通省へ車両確認申請を行う。	数値目標	【隙間調整材の設置】 南北線の6駅分の設置工事を発注し、うち2駅分の隙間調整材の設置を行う。
	予定	実績	
上期	【隙間調整材の設置】 4～9月：工事の発注、施工計画、材料承諾 【車両】 ・8月 仕様決定（車体、ソフトウェアを除く）	【隙間調整材の設置】 6駅中、2駅分は契約済み、4駅分は契約手続中 【車両】 ・8～9月 車体、ソフトウェアを除き、台車・ブレーキ・主回路制御装置・ATC/O・低圧電源装置・空調について、仕様を決定した。	
下期	【隙間調整材の設置】 ・10～3月 施工監理、検査 【車両】 ・11月 仕様決定（車体） ・1月～3月 工場検査 ・3月 国土交通省へ車両確認申請	【隙間調整材の設置】 6駅中、2駅分は設置完了、4駅分は契約済みで施工準備中 ・11月 仕様を決定した（車体） ・1月～3月 工場検査を実施した。 ・3月 国土交通省へ車両確認申請を行った。 ・3月 国土交通省より確認書交付を受けた。	
定期的な取組み	【隙間調整材の設置】 ・工事受注者との打合せ 【車両】 ・全製造請負業者を集めた全体会議の実施 ・各製造請負業者ごとの打合せ実施	【隙間調整材の設置】 ・工事受注者との打合せを実施 【車両】 ・全製造請負業者を集めた全体会議の実施（7月） ・各製造請負業者ごとの打合せ実施（適宜）	

【令和4年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	【隙間調整材の設置】 隙間調整材の設置について、6駅中2駅は設置を完了し、4駅は契約済みであり、予定通り進んでいる。 【車両】 予定どおり車両仕様を決定し、国土交通省への車両確認申請を行い、確認書が交付された。	数値目標の達成状況	【隙間調整材の設置】 南北線の6駅分の設置工事を発注し、うち2駅分の隙間調整材の設置を完了し、当年度の目標は達成できた。
次年度に向けて	【隙間調整材の設置】 過年度に実施した工事において得られた施工可能量や、施工上の課題を踏まえ、発注時期を調整し、着実に工事をすすめる。 【車両】 令和4年度は順調に推移した。次年度については新型車両を富沢車両基地へ搬入し、基地内試験調整および本線走行試験を行う。				

【備考】

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	2-2-8	分類	地下鉄	担当課	営業課	戦略	快適なお客さまサービスの提供	年度	R4	
取組	利用しやすい環境整備			個別取組	地下鉄駅朝ラッシュ時の混雑対策					
概要	新社会人、新入学生が地下鉄を利用し始める年度初めの時期に合わせて、駅構内や車内での放送や職員の呼びかけによる分散乗車キャンペーン(※1)を実施し、車内混雑を平準化することで、お客さまが快適に地下鉄をご利用いただけることを目指します。									
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
予定	地下鉄分散乗車キャンペーンの実施									
これまでの取組み状況	【令和3年度】 ・駅構内や車内放送のほか、ホーム階で職員の呼びかけによるキャンペーンを実施(4月:旭ヶ丘駅・薬師堂駅、10月:北仙台駅・連坊駅)									

【年度計画及び実績】

課題	地下鉄の車内混雑を平準化する必要がある。		
実施内容	地下鉄の車内混雑を平準化するため、駅構内や車内での放送や職員の呼びかけによる分散乗車キャンペーンを実施する。		数値目標 年2回実施
	予定		実績
上期	4月 地下鉄分散乗車キャンペーンの実施 5月～ キャンペーンの効果検証を行い、10月の実施内容を検討		4月 地下鉄分散乗車キャンペーンの実施 5月～ キャンペーンの効果検証を行い、10月の実施内容を検討した
下期	10月 地下鉄分散乗車キャンペーンの実施		10月 地下鉄分散乗車キャンペーンの実施
定期的な取組み	交通局ウェブサイトやTwitterによる車内混雑状況の広報(※2)		交通局ウェブサイトやTwitterによる車内混雑状況の広報

【令和4年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	平日朝の通勤通学時間帯の5日間、以下のとおり職員の呼びかけや駅構内・車内放送による分散乗車キャンペーンを実施した。 ・4月18日から22日まで、旭ヶ丘駅及び薬師堂駅において実施。 ・10月17日から21日まで、北仙台駅及び連坊駅において実施。	数値目標の達成状況	分散乗車キャンペーンを年2回実施した。
次年度に向けて	地下鉄の車内混雑を平準化するため、駅構内や車内での放送や職員の呼びかけを行う必要がある。				

【備考】

- ※1 分散乗車キャンペーンについては、下記リンクよりご確認ください。
[仙台市交通局ウェブサイト「地下鉄分散乗車キャンペーンを実施します」](#)
- ※2 混雑状況の広報については、下記リンクよりご確認ください。
[仙台市交通局ウェブサイト「地下鉄混雑状況の公表について」](#)

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	2-2-9	分類	地下鉄	担当課	電気課		戦略	快適なお客さまサービスの提供		年度	R4
取組	利用しやすい環境整備			個別取組	地下鉄券売機の機能向上の検討						
概要	地下鉄券売機について、設備更新に合わせて、キャッシュレス決済の普及状況を踏まえたクレジットカード対応など券売機の機能向上を検討していきます。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
予定	仕様書作成・予算要求 更新工事										
これまでの取組み状況	【令和3年度】 ・クレジットカード等キャッシュレス決済導入にかかるコスト等を検討した。 ・費用対効果を検討の結果、クレジットカード等キャッシュレス決済を導入することによるイニシャル・ランニングコストが膨大であることから、関係部所と協議のうえ、令和5年度からの更新には導入しないこととした。										

【年度計画及び実績】

課題	券売機の機器更新に合わせて、機能向上やコスト縮減策を検討したうえで、資金計画を立てる必要がある。		
実施内容	メーカーと共に最新の機器仕様を検討するとともに、コスト縮減策について内部で検討を行う。	数値目標	
	予定	実績	
上期	見積依頼用の仕様書を作成し、メーカーに見積依頼を行う。	見積依頼用の仕様書を作成し、見積を行い資金計画を決定した。	
下期	見積書に基づき資金計画の検討を行う。	見積書に基づき資金計画を検討した上で次年度以降の準備を行った。	
定期的な取り組み	自動出改札設備における他事業者の動向や、新技術や新機能についての調査を継続して行う。	自動出改札設備における他事業者の動向や、新技術や新機能についての調査を継続して行った。	

【令和4年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	見積書に基づき関係部署と調整し、資金計画を検討した上で、準備を行った。	数値目標の達成状況	
次年度に向けて	計画通りに更新業務を発注し、各駅への設置スケジュール等を関係部署と調整を行う。				

【備考】